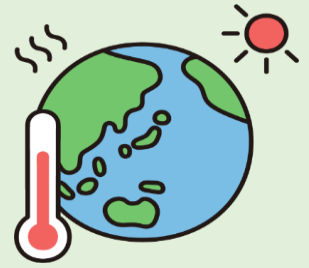


## 2024年 11月の環境活動報告



### 「CO2を食べる」自販機のご紹介



2024年もいよいよ終わりに近づいています。

今年の世界平均気温が1.55度上昇し、史上最も暑かった去年の2023年を越えて、観測史上1位の暑い年になると予想されています。

二酸化炭素やメタンなどの「温室効果ガス」の増加が気温上昇の原因となっています。

2023年7月から東京スカイツリーに設置されている「CO2を食べる」自動販売機は国内2例目の設置となり、関東では初設置となります。

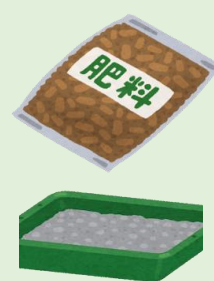
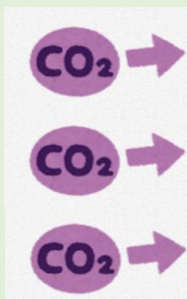
日本は世界一の飲料自販機普及率といわれて、約256万台の飲料自販機が普及しています。街中やオフィス、商業施設、公園など、さまざまな場所に設置されています。飲料自動販売機普及利便性を活用し、「都会の中に森を作る」のコンセプトのもとで、空気中の二酸化炭素を食べてしまう自動販売機が誕生しました。



自販機内に特殊な装置に備えてCO2を吸収する「CO2を食べる」自販機は、稼働時に発生する二酸化炭素の約2割を吸収できます。カルシウム類から作られた二酸化炭素を吸収する吸収剤を、自販機に搭載し、一台当たり年間で杉の木約20本分相当のCO2を吸収できると言ってます。

また、使用済みの吸収剤は肥料や建築材などにして資源循環させられます。

「CO2を食べる」自販機の普及につれて、二酸化炭素を減らし、カーボンニュートラルへの貢献は期待できると思います。



木のようにCO2を「パクパク」食べる自動販売機

使用済みの吸収剤は肥料や建築材などに变身

	内容	目標	当月実績	達成度合	判定	特記事項
節電	消費電力の削減	1,597.8 kwh/月	1,281.4 kwh	124.7%	達成	
節水	水道使用量削減	8,000 m <sup>3</sup> /月	7,748 m <sup>3</sup>	103.3%	達成	
廃棄物処理	可燃ゴミ削減	19.00 Kg/月	9.66 Kg	196.7%	達成	
グリーン購入	グリーン購入品推進	80 %/月	81.8 %	102.3%	達成	
製品・サービス	省エネ省資源化の提案	3 件/月	3 件	100.0%	達成	